

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅰ-1			必修	1	1	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 祐太 他		D310	y.sakamoto		月曜 11:00～12:00	
授業の目的・概要		理学療法学の初学者に必要な感性、倫理感、理学療法への理解を深めることを主の目的とする。また、医療者および社会人として必要な学習方法として、グループワーク、情報収集、プレゼンテーション、レポート作法、論理的思考等を経験し、大学で理学療法学を学修する方法を身につける。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)	☒ 講義 ☒ 演習 ☒ 実習 ☐ 実技	☒ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☒ 反転授業 ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク	☒ ディスカッション・ディベート ☐
学習上の助言		授業内外のグループワークや学習が重要となる。自ら学ぶ姿勢を持ち、発言が苦手な学生もグループへの積極的な貢献を行うことを推奨する。				
教科書		論理的文章作法＜帰納法・演繹法・弁証法で書く＞、西田みどり、知玄社/2017				
参考書		大学生からのグループ・ディスカッション入門、中野美香、ナカニシ社/2018 考える技術・核技術 日本人のロジカルシンキング実践法、山崎康司、ダイヤモンド社/2011				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	医療人として必要な倫理感について理解する				PT(1)、(3)、(5)、(6)	
②	理学療法について理解し、説明できる				PT(1)、(3)、(5)、(6)	
③	グループワークにおける討論の方法を理解できる				PT(2)、(4)、(5)	
④	プレゼンテーションの方法を理解できる				PT(2)、(4)、(5)	
⑤	レポートの作成方法を理解できる				PT(2)、(5)、(6)	
⑥	共同した学習方法を理解できる				HSU(4)～(6)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法		学習課題・学習時間（時間）	
1	「概要①」理学療法演習Ⅰ-1の学修内容、グループワーク方法を講義する。演習班で自己紹介をおこなう。		[担当] 坂本祐太 講義・演習			0
2	「概要②」理学療法の概要、グループワーク方法を講義する。演習担当の教員への自己紹介の準備をする。		[担当] 坂本祐太 講義・演習		演習担当教員へのアポイントメントをとり、自己紹介をする	1
3	「医療倫理①」理学療法に関連する倫理的課題や社会背景について講義する。グループでディスカッションし、理解を深める。		[担当] 坂本祐太 他 講義・演習		医療倫理テーマ① 事前情報を確認し、授業に臨む。医療倫理を題材にしたプレゼンテーションを準備する。授業外にグループワークし、発表の準備をする。	2
4	「医療倫理②」理学療法に関連する倫理的課題や社会背景について講義するグループでディスカッションし、理解を深める		[担当] 坂本祐太 他 演習			
5	「医療倫理③」プレゼンテーションの方法について講義する。医療倫理についてグループでプレゼンテーションの準備をする。		[担当] 坂本祐太 他 講義・演習		医療倫理テーマ② 医療倫理を題材にしたプレゼンテーションを準備する。授業外にグループワークし、発表の準備をする。	3
6	「医療倫理④」医療倫理についてグループでプレゼンテーションの準備をする		[担当] 坂本祐太 他 演習			
7	「医療倫理⑤」プレゼンテーションをする		[担当] 坂本祐太 他 演習			
8	「医療倫理⑥」医療倫理をレポートにまとめる		[担当] 坂本祐太 演習		事前に文章作法の動画を視聴し、授業に臨む。医療倫理を題材にしたレポートを作成する	2
9	「理学療法士とは①」理学療法における領域や病期の説明と、インタビューの方法について講義する。インタビューの計画を立てる		[担当] 坂本祐太 他 講義・演習		理学療法学科所属者にインタビューをする。 インタビュー内容をまとめ、紹介するためのプレゼンテーションを作成する。 授業外でのグループワーク、デ	6
10	「理学療法士とは②」理学療法学科所属者へのインタビューおよびインタビュー内容をグループでまとめ、プレゼンテーションの準備をする		[担当] 坂本祐太 他 演習			

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

11	「理学療法士とは③」理学療法学科所属者にインタビュー内容をグループでまとめ、プレゼンテーションの準備をする	[担当] 坂本祐太 他	演習	ディスカッションを行う	
12	「理学療法士とは④」理学療法学科所属者にインタビュー内容をグループでまとめ、プレゼンテーションの準備をする	[担当] 坂本祐太 他	演習		
13	「理学療法士とは⑤」理学療法学科所属者にインタビューする内容をグループでまとめ、プレゼンテーションの準備をする	[担当] 坂本祐太 他	演習		
14	「理学療法士とは⑥」プレゼンテーションする	[担当] 坂本祐太 他	演習		
15	「理学療法士とは⑦」レポートにまとめる	[担当] 坂本祐太	演習	事前に文章作法の動画を視聴し、授業に臨む。「理学療法士とは」を題材にレポートを作成する。	1
試					

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			40	60			100
総合力指標	知識・技術力		10	10			20
	思考・推論・創造する力		10	10			20
	協調性・リーダーシップ			5			5
	発表・表現伝達する力		10	5			15
	コミュニケーション力			10			10
	取組みの姿勢・意欲			10			10
	問題を発見・解決する力		10	10			20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
レポート	①	✓	テーマ「医療倫理」（15％）とテーマ「理学療法士とは」（25％）について、それぞれレポートを提出し成績判定とする。			必要に応じて、解説を行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①	✓	テーマ「医療倫理」の発表と（20％）テーマ「理学療法士とは」の発表（40％）をそれぞれ評価し、成績判定とする。成績判定には、教員による評価と演習班内の学生同士による評価を用いる。			必要に応じて、解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		粕山 達也、坂本 宏史、三科 貴博、田中 将志、升 佑二郎、成 昌燮、松崎 昇、関口 賢人、関根 聡美、大塚 篤也、甘利 貴志、元山 美緒、新任教員					
教員の実務経験		理学療法士として7年の臨床経験がある。グループワーク中心の授業の主担当を2年間している。					
実践的授業の内容		理学療法士には様々な属性に関係なくすべての人の尊厳と権利を尊重し、誠意や謙虚さを備える態度が必要である。本科目では、学生、患者、医療者で生じる事例や、臨床現場で生じている問題を取り上げ、学生間でディスカッションをすることで医療者および理学療法士に対する理解を醸成する。さらに、理学療法コース所属者へインタビューをすることで、大学における学びや生活、理学療法に対する具体的なイメージを形成する。能動的学習法を取り入れることで、アカデミックスキルの利用方法を経験する。					

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

そ の 他	この科目では、グループ単位での活動が主となる。授業外での活動が重要になるため、学生間、教員との連絡の際には相手を尊重し、マナーのある連絡の仕方について理解し、実践すること。PC を使用する場面があるため、準備しておくこと。 感染対策：大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって授業形態の変更など、再度シラバスの変更がある可能性がある。また、授業の進行状況により、一部変更される場合がある。
-------	--